

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 1 区分

【発行日】平成 18 年 3 月 30 日 (2006.3.30)

【公開番号】特開 2003-323977 (P2003-323977A)

【公開日】平成 15 年 11 月 14 日 (2003.11.14)

【出願番号】特願 2003-52689 (P2003-52689)

【国際特許分類】

H 0 5 B 33/08 (2006.01)

G 0 9 G 3/20 (2006.01)

G 0 9 G 3/30 (2006.01)

H 0 1 L 51/50 (2006.01)

【F I】

H 0 5 B 33/08

G 0 9 G 3/20 6 2 1 B

G 0 9 G 3/20 6 4 1 D

G 0 9 G 3/20 6 7 0 A

G 0 9 G 3/20 6 7 0 J

G 0 9 G 3/30 J

H 0 5 B 33/14 A

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 2 月 9 日 (2006.2.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

三重項励起状態からの発光を呈する発光素子に、順方向バイアスおよび逆方向バイアスを印加する際、

前記順方向バイアスおよび前記逆方向バイアスを交互に印加する周期内において、
前記順方向バイアスの最大電圧の絶対値が、前記逆方向バイアスの最大電圧の絶対値より大きくなるように前記順方向バイアスおよび前記逆方向バイアスを印加し、

前記逆方向バイアスを印加する時間が、前記順方向バイアスを印加する時間と同じ時間か、または前記順方向バイアスを印加する時間より長い時間となるように前記順方向バイアスおよび前記逆方向バイアスを印加することを特徴とする発光装置の駆動方法。

【請求項 2】

請求項 1 において、

前記逆方向バイアスの最大電圧の絶対値が、前記順方向バイアスの最大電圧の絶対値の 4 分の 1 以上になるように前記順方向バイアスおよび前記逆方向バイアスを印加することを特徴とする発光装置の駆動方法。

【請求項 3】

請求項 1 または請求項 2 において、

前記順方向バイアスは前記発光素子に対して一定の電圧が加わるように印加し、前記逆方向バイアスは前記発光素子に対して一定の電圧が加わるように印加することを特徴とする発光装置の駆動方法。

【請求項 4】

請求項 1 または請求項 2 において、

前記順方向バイアスは前記発光素子に対して一定の電流を流すように印加し、前記逆方向バイアスは前記発光素子に対して一定の電圧が加わるように印加することを特徴とする発光装置の駆動方法。